

第55回 京の冬の旅 非公開文化財特別公開 について

公益社団法人京都市観光協会

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。今年度で55回目を迎える京都市・京都市観光協会主催の「京の冬の旅」非公開文化財特別公開の概要についてお知らせいたします。ツアー企画等にご利用いただけましたら幸いです。(下記情報は現時点での情報となります。今後変更になる場合もございます。)

★「第55回 京の冬の旅 非公開文化財特別公開」は、個人・団体ともインターネットからの「事前予約優先」(当日受付で空きがあれば拝観頂けます)で公開予定

当日は、予約頂いた受付開始時間までに受付へお越しください。時間を過ぎても入場可能ですが、お客様の来場状況により、入口でお待たせすることがありますのでご了承ください。

以下からお申込みください。(予約サイトは AGT 様向けに先行して 10/15 より公開。11月下旬より個人お客様向けにも公開予定です)

予約サイト URL : https://select-type.com/rsv/?id=OKHmNVvvr10&c_id=120961&w_flg=1



拝観希望日・時間、人数や参加形態を選択 → ツアー名(団体名)、御社名(グループ名)、ご担当者様名、ご連絡先電話番号、メールアドレス 等をご入力ください。

※なるべく時間に余裕を持った行程を組まれますようお願いいたします。

※募集ツアーで不催行が決まった場合や、時間・人数変更については、原則、予約日の **21 日前の 17:00 までに**、キャンセルや変更処理を行ってください(キャンセルについては決定次第なるべく早めのキャンセル処理をお願いいたします。)。また万が一、その後、時間・人数に変更が発生した場合は京都市観光協会(誘致事業課 075-213-0020)までご連絡ください。

○お問合せ先

公益社団法人京都市観光協会 誘致事業課

TEL : 075-213-0020 (誘致事業課) FAX : 075-213-1011

- ・ご拝観の際にはマスクの着用をお願いいたします。
- ・体調不良もしくは 37.5 度以上の熱がある場合は、ご拝観をご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・拝観前にアルコールにて手消毒をお願いいたします。
- ・拝観に際しては係員の案内に従っていただきますようお願いいたします

●感染発生時に備え、

「京都市新型コロナあんしん追跡サービス」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000270672.html>

「京都府新型コロナウイルス緊急連絡サービス」

<https://www.pref.kyoto.jp/kikikanri/coronakinkyurenaku.html>

「新型コロナウイルス接触確認アプリ」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

などをご利用ください。

●その他、感染症予防対策にご協力くださいますようお願いいたします。

※いずれの公開箇所も、都合により拝観・見学できない日や時間帯が生じる場合があります。

※今後の新型コロナウイルス感染拡大状況の推移や社会情勢等によっては、拝観休止や内容・期間等一部変更とさせていただきますこと、予めご了承ください。

【京の冬の旅 非公開文化財特別公開】～秘められた京の美をたずねて～

昭和5年(1930)、日本の地方行政組織としては初めて京都市に「観光課」が設置されてから、2020年で90年。また昭和45年(1970)に「文化財保護課」が設置され「文化財保護行政」が始まってから、2020年で50年となる記念の年を迎えます。

第55回「京の冬の旅」では「京の名宝 美の遺産」と題して、国宝・重要文化財をはじめ京都千年の歴史のなかできらめきを放つ珠玉の文化財のなかから、通常非公開の文化財を期間限定で特別公開いたします。「京の冬の旅」初公開の3つの文化財を含む12ヶ所での特別公開です。

■公開期間 2021年1月9日(土)～3月18日(木)

- *方広寺：1月16日(土)、3月17日(水)は拝観休止
- *智積院：2月28日(日)までの公開。また1月と2月で特別公開の内容が変わります。
- *東福寺 三門：3月7日(日)までの公開。
- *東福寺 龍吟庵：3月7日(日)までの公開。
- *大徳寺 聚光院：1月27日(水)・28日(木)、2月2日(火)・27日(土)・28日(日)、3月9日(火)は拝観休止。
- *仁和寺 金堂・五重塔：2月2日(火)・3日(水)・14日(日)・15日(月)・28日(日)、3月1日(月)は「経蔵・五重塔」の特別公開。
- *妙心寺 大雄院：2月7日(日)は拝観休止。
- *東寺 小子房：1月16日(土)～の公開。

その他法要や悪天候等、都合により拝観できない日や時間帯が生じる場合があります。最新情報は京都観光Navi ホームページ「京の冬の旅」(11月下旬頃公開予定)で随時更新 <https://ja.kyoto.travel/>

■公開時間 10:00～16:30(16:00受付終了)

- *智積院、龍安寺 蔵六庵・「芭蕉図」：9:00～16:30(16:00受付終了)
- *東寺 五重塔：8:30～17:00(16:30受付終了)

■料 金 1ヶ所 大人(中学生以上)700円/小学生300円(団体15名以上は1割引)

- *智積院：大人(中学生以上)900円/小学生400円(通常公開部分を含む)で、15名以上の団体は1割引。
- *龍安寺 蔵六庵・「芭蕉図」：大人(中学生以上)400円/小学生200円で、団体割引なし。別途通常拝観料 大人(高校生以上)500円/小中学生300円(団体割引なし)が必要。
- *東寺 五重塔：大人(大学生以上)800円/高校生700円/小中学生500円(通常公開部分を含む)で、30名以上の団体は1割引。

基本的には、靴を脱ぐ必要のある場所には靴棚を設置しておりますが、靴間違い防止のため「靴袋持参」をお勧めしております。※プラスチックゴミ削減のため靴袋配布は行いません

○対象箇所と見どころ(12ヶ所) ※都合により、寺宝等展示物の内容が変更となる場合がございます。

ほうこうじ 方広寺 京の冬の旅初公開 「京の大仏さん」を偲ぶ「国家安康」の鐘のある寺～

豊臣秀吉が、奈良・東大寺にならって大仏を祀るために創建。大仏と大仏殿は失われたが、「国家安康君臣豊楽」の銘文が大坂冬の陣のきっかけとなった巨大な梵鐘(重文)は今も残っている。

本堂には、かつての大仏の10分の1の大きさに江戸期に造られた盧舎那仏坐像や、大仏殿の欄間に施されていた左甚五郎作の龍の彫刻(部分)などが残る。明治・大正期の日本画家・吉川霊華が描いた、巨大な掛軸「神龍図」も特別展示。※1月16日(土)、3月17日(水)は拝観休止

★大型P：なし(大和大路通もしくは七条通で路上乗降) ★拝観所要時間：約30分(乗降場所から受付まで片道徒歩約3～5分)

ちしやくいん
智積院 密厳堂・求聞持堂は京の冬の旅初公開

～桃山文化を伝える 華麗なる障壁画と庭園～

真言宗智山派の総本山。長谷川等伯筆の「楓図」やその息子・久蔵の「桜図」など桃山文化を代表する豪華な障壁画（国宝）、中国の廬山をかたどった千利休好みと伝わる庭園（名勝）が美しい。

【1月の特別公開 密厳堂・三部権現社・求聞持堂】境内最古の建物・密厳堂や、三部権現社拝殿の天井画「龍図」、求聞持堂の本尊など境内最奥の秘められたエリアを特別公開。

【2月の特別公開 宸殿】賓客を迎える建物で、京都画壇の巨匠・堂本印象筆「婦女喫茶図」「松桜柳の図」などの障壁画を特別公開。

※2月28日（日）までの公開。また1/9～31、2/1～28で特別公開の内容が変わります。

★大型P：智積院駐車場 ★拝観所要時間：約50分（駐車場から受付まで片道徒歩約2分）

とうふくじ さんもん
東福寺 三門 京の冬の旅5年ぶりの公開 ～国宝の三門 楼上に広がる浄土の世界～

鎌倉時代に九條道家が創建した東福寺は、臨済宗東福寺派の大本山。「伽藍面」と称された中世の貴重な禅宗建築が今も残っている。

室町時代再建の三門（国宝）は、禅宗三門としては日本最古で最大の門。高さ約22m、市内一望の楼上には宝冠釈迦如来像や十六羅漢像を安置する。画僧・明兆（兆殿司）らによる極彩色の飛龍や天女などが描かれた荘厳な空間が広がる。※3月7日（日）までの公開

★大型P：なし（九条通で路上乗降） ★拝観所要時間：約30分（乗降場所から受付まで片道徒歩約10分）

とうふくじ りょうぎんあん
東福寺 龍吟庵 京の冬の旅6年ぶりの公開

～重森三玲の庭園と日本最古の方丈建築～

東福寺の第三世住持・大明国師（無関普門）の住居跡。方丈（国宝）は、室町初期に建てられた現存最古の禅宗方丈建築で、書院造と寝殿造の名残をとどめた柿葺屋根の優美な建物である。

昭和の名作庭家・重森三玲が手がけた「龍の庭」は、龍が海中から黒雲に包まれ昇天する姿を表現。白砂と黒砂が雲を、竹垣の模様が稲妻を表し、芸術性に富んだ庭園美がみどころである。

※3月7日（日）までの公開

★大型P：なし（九条通で路上乗降） ★拝観所要時間：約30分（乗降場所から受付まで片道徒歩約13分）

だいたくじ じゅこういん
大徳寺 聚光院 京の冬の旅7年ぶりの公開

～絢爛！茶聖と天才絵師 美の競演～

永禄9年（1566）、武将・三好長慶の菩提を弔うために創建。茶人・千利休と茶道三千家の菩提寺である。方丈（重文）は、桃山の画壇を風靡した絵師・狩野永徳と、その父松栄の「花鳥図」「瀟湘八景図」「琴棋書画図」など国宝の障壁画（複製）で飾られている。永徳の下絵を元に、利休が作庭したと伝わる「百積の庭」（名勝）や、茶室「閑隠席」（重文）と「柵床席」（重文）の二つの名席もみどころ。※1月27日（水）・28日（木）、2月2日（火）・27日（土）・28日（日）、3月9日（火）は拝観休止

★大型P：大徳寺駐車場 ★拝観所要時間：約35分（駐車場から受付まで片道徒歩約5分）

だいとくじ ずいほういん
大徳寺 瑞峯院 京の冬の旅19年ぶりの公開

～十字架の庭と利休の待庵写しの茶室～

キリシタン大名・大友宗麟^{おともそうりん}が創建。7つの石が十字架をかたどるように配置され「十字架の庭」とも呼ばれる「閑眠庭^{かんみんてい}」と、蓬萊山^{ほうらいさん}と半島に打ち寄せる荒波を表した「独坐庭^{どくざてい}」は、重森三玲^{しげもりみれい}が作庭した昭和の名庭である。千利休^{せんりのきゅう}が建てた国宝茶室「待庵^{たいあん}」の写しで「平成待庵^{へいせい待庵}」と呼ばれる茶席も特別公開。窓^ろや炉^ろの位置、天井の意匠などによって、わずか二畳の茶席に奥行きや広がりをもたせている。

★大型P：大徳寺駐車場 ★拝観所要時間：約30分（駐車場から受付まで片道徒歩約2分）

みょうれんじ
妙蓮寺 京の冬の旅21年ぶりの公開

～西陣の名刹に残る豪華な長谷川派の障壁画～

鎌倉時代に創建された本門法華宗大本山。奥書院に特別展示される長谷川等伯一派^{はせがわとうはく}が手がけた豪華な金碧障壁画は、幾何学的とも称される大胆な構図の「銚杉図^{しやうさぎず}」や「柳図^{やなぎず}」、「松桜図^{しょうおうず}」（いずれも重文）など、独特の様式美がみどころ。また「十六羅漢の庭^{じゅうろくらかん}」は、豊臣秀吉より贈られた「臥牛石^{がぎゅうせき}」を中心に、十六羅漢に見立てた石が点在する風情ある庭である。収蔵庫には等伯の次男・宗宅筆の「吉野桜図屏風^{そうたく}」など寺宝も展示される。

★大型P：なし（堀川通で路上乗降） ★拝観所要時間：約35分（乗降場所から受付まで片道徒歩約2分）

りょうあんじ ぞうろくあん ばしょうず
龍安寺 蔵六庵・「芭蕉図」 蔵六庵は「京の冬の旅」6年ぶり、「芭蕉図」は初公開

～123年ぶりに帰還した雄大な芭蕉の図～

世界文化遺産・龍安寺は、白砂に15個の石を配した石庭（特別名勝・史跡）で世界的に有名な寺院。特別公開の襖絵「芭蕉図^{ばしょうず}」（9面）は明治期まで方丈を飾っていたもので、2018年、123年ぶりに龍安寺に帰還。金地に芭蕉のみを描いた斬新な構図で、桃山時代の狩野派もしくは海北派の筆によるものとされる。茶室「蔵六庵^{ぞうろくあん}」は四畳の茶席で、露地には「吾唯足知^{われただたるをしる}」の禅の格言を謎解きに図案化した「知足のつくばい^{ちそく}」が据えられている。

★大型P：龍安寺駐車場 ★拝観所要時間：特別公開約20分+通常公開部分（石庭など）約30分（駐車場から受付まで片道徒歩約5分）

にんなじ こんどう ごじゅうのとう
仁和寺 金堂・五重塔 五重塔は京の冬の旅8年ぶりの公開

～宮殿建築と塔内部に広がる極彩色の世界～

「御室御所^{おむろ}」と呼ばれた真言宗御室派の総本山で、世界文化遺産。代々皇室から住職を迎えた門跡寺院で、御所の紫宸殿を移築した金堂（国宝）は、桃山時代の宮殿建築を伝える貴重な建物である。

近世五重塔の代表作といわれる五重塔（重文）は、相輪までの高さ約36mで各層の屋根がほぼ同じ大きさの細身で優美な姿。心柱^{しんばしら}を中心に胎蔵界五仏^{たいぞうかい}を安置する初層内部は、一面極彩色の仏画で飾られ、牡丹唐草や菊花文様が美しい。

※2月2日（火）・3日（水）・14日（日）・15日（月）・28日（日）、3月1日（月）は「経蔵・五重塔」の特別公開

★大型P：仁和寺駐車場 ★拝観所要時間：約35分（駐車場から受付まで片道徒歩約5分）

妙心寺 大雄院 京の冬の旅 4年ぶりの公開

～江戸時代の漆芸家と現代の宮絵師の襖絵～

おわり 尾張藩家老・石河光忠いしこみつただが創建。向日葵ひまわりが描かれているのが珍しい「四季草花図」など客殿の襖絵72面は、江戸末期から明治初期に活躍した漆芸家で絵師の柴田是真しばたぜしんが描いたもの。

また是真の下絵を元に、宮絵師・安川如風やすかわにょふうが3年がかりで描いた40種類以上の「千種ちぐさの花はなの丸まる」の襖絵18面は今冬初公開となる。戦火で焼失した東京・明治宮殿「千種ちぐさの間ま」に描かれていた、是真の大作「花の丸大天井」の美しい絵を再現した襖絵である。※2月7日（日）は拝観休止

★大型P：花園会館駐車場 ★拝観所要時間：約30分（駐車場から受付まで片道徒歩約7分）

とうじ ごじゅうのとう 東寺 五重塔

シンボル ～京都の象徴 日本一高い五重塔～

世界文化遺産に登録された真言宗総本山。平安京造営時に創建され、のちに弘法大師空海こうぼうだいしくうかいに下賜された。江戸時代再建の五重塔（国宝）は、高さ約55mの日本一高い木造塔である。特別公開の初層内部は極彩色の文様で彩られ、大日如来だいにちによらいに見立てた心柱を囲んで金剛界四仏が安置されている。また薬師三尊像を祀る金堂こんどう（国宝）、21体の仏像が立体曼荼羅りったいまんだらを形成する講堂（重文）など密教美術の宝庫といわれる諸堂も拝観できる。

★大型P：東寺駐車場（※但し毎月21日の弘法市が開催されている場合は利用不可）★拝観所要時間：約40分

とうじ しょうしぼう 東寺 小子房

京の冬の旅 8年ぶりの公開

～巨匠の襖絵を残す東寺の迎賓館～

小子房は東寺の迎賓館で、現在の建物は昭和9年に再建され、6部屋を飾る障壁画は近代日本画の巨匠・堂本印象どうもといんしょうによって描かれた。水墨の襖絵が彩る「鷺わしの間うり」「瓜の間」や、金箔に極彩色の障壁画が見事な「勅使ちやくしの間」がある。七代目小川治兵衛ちやうしんえん作の庭園「澄心苑」や鎌倉時代築の蓮花門れんげもん（国宝）もみどころ。※1月16日（土）～の公開

★大型P：東寺駐車場（※但し毎月21日の弘法市が開催されている場合は利用不可）★拝観所要時間：約40分

以上